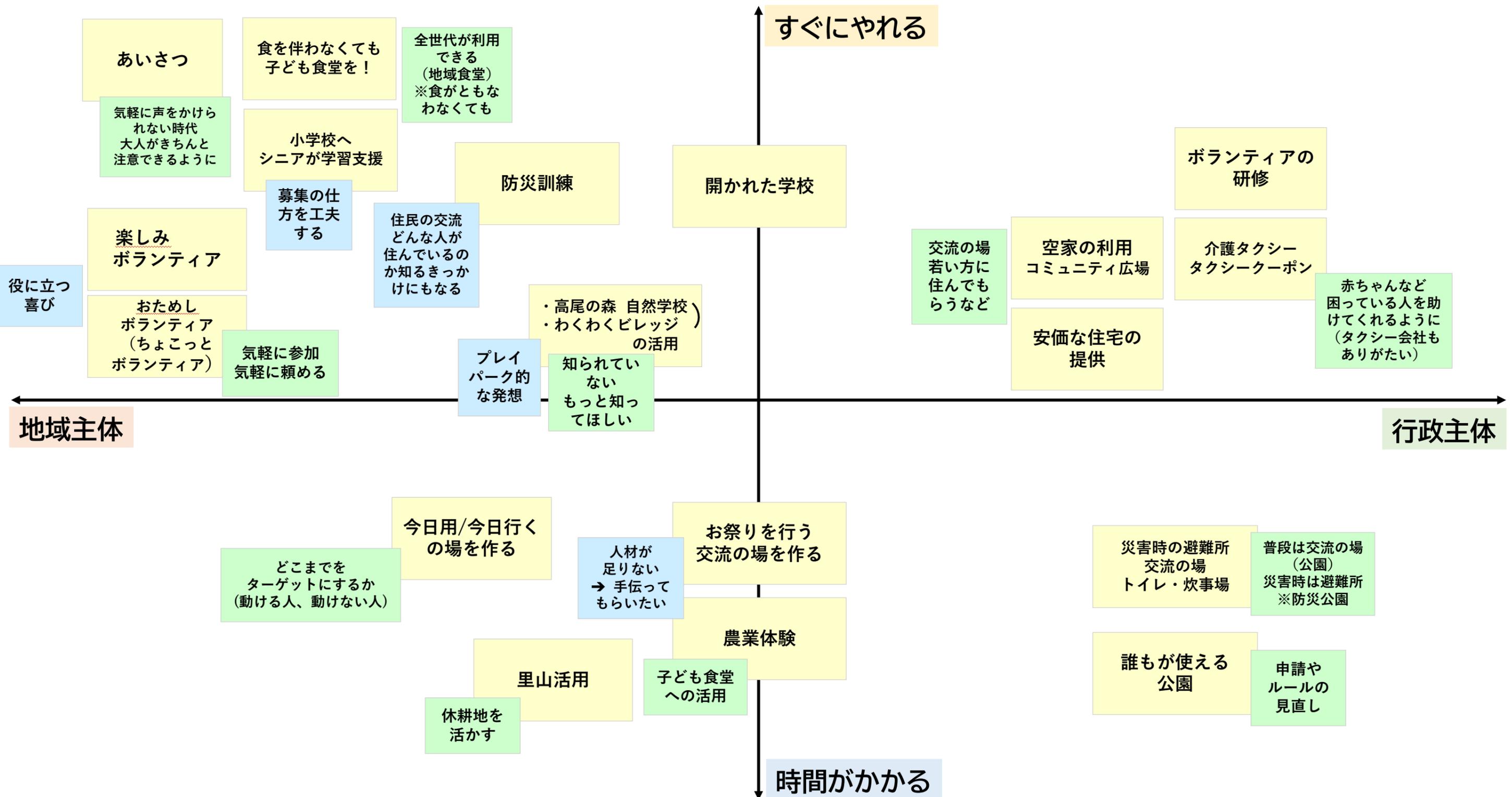


ありたい姿

Shoku(触・食・職)で人がつながる街

想い

人と人とのつながりを重視。交流の場をいかにして作るか、様々な世代をどうやって取り込んでいくかという考えが軸。
人と人の触れ合いがカギとなるとの意見から、前回からの「Shoku(食・職)」に3つ目の「触」を追加



職住近接

地域に仕事場があった 廃墟になっている	「空地の利用」 畑にして野菜作りを 町会で行なう だれでも食堂
畑を手ばなしして宅地の方向 (税金等)	田畑の宅地以外の活用を考える
生活拠点となる安価な住宅を用意する	里山を活かす
	休耕地を提供する
公的施設それに準ずる施設にWi-Fiを (テレワーク)	近場でテレワークができる場所も作る

交流の場

学校開放 学校の活用	どの世代も交流できる機会 場所を作り参加しやすい場 をもてるようにする	人が集まる(多世代へだてなく)場所をつくる
小学校などの活用 (教室・グラウンド)	マメな人材が必要	各小学校に地域住民の集える所をつくる
城中の南北の交流を盛んにするには？	山をへだてて左・右に分かれてしまっている	
地域の交流 学校の場所		

特産物

地域の特産物をつくる (先輩の経験)	杉林を有効に利用する 取組み
「世代を越えての交流」 ・街の駅 ・手作り品の展示販売 ・地域の見所や歴史の紹介	農業スクールを開く

交通/生活

行きたい所に自由に行きたい	JAくるのは週一回 (やや不便)
コミュニティバスの運行 主要な駅までの	

現役世代のとりこみ

老若共同作業にて役割を担う (技術の継承)	若い人の意見をとるべき (これから仕事する人)	3代にわたって住みたい人も多い
地域愛を育み続けたい	自治会の充実	新しい世代がくり返し住める環境を整える

防災

「子供から高齢者の交流」 防災訓練 非常食を使って 食事会	防災無線のようなシステムで情報を収集する	地域パトロール 子ども達の安全
地区ごとの行政運営を! きめこまやかな政策		その後の情報がこない

交流

子ども・高齢者

「交流の場」 無料スマホ教室 若者→高齢者	子ども達への知識提供	子ども達に何か教えてもらいたい
	放課後教室の充実	働く保護者の安心
		保育の充実 (安心して仕事ができる様に)

子ども

情報収集/方法

スマートフォンは高齢者にはむずかしい	キャリア(ケータイ)値段を下げる
有線のようなもので情報がまわってくるとよい	

ボランティア

ボランティア活動の推進 子どもたちからの参加・教育	補助金 ボランティア
目に見える成果が(金銭・人が増える)あるとうれしい	人数をふやすか手あてを出すか

地域の特性を活かす

八王子市内の地域毎の役割分担
(競合せず協働できる)